

(様式2)

令和6年 5月 31日

### 女性の就農環境改善計画書

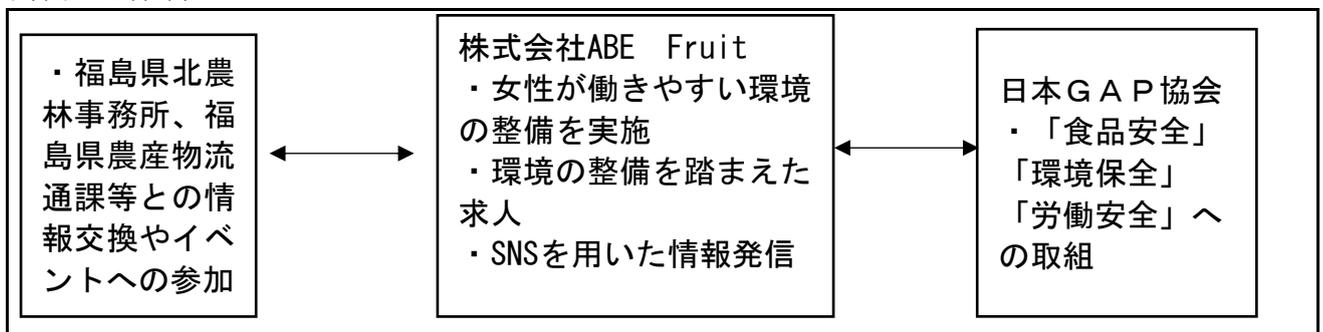
(令和5年度女性の労働環境整備・活躍強化事業(女性が働きやすい環境の整備支援))

#### 1 地域取組主体の概要

名称	株式会社 ABE Fruit	
所在地	福島県福島市荒井字上笹森30	
代表者	阿部 秀徳	
主な組織の事業内容(注)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 事業内容：りんご・桃・ネクタリンの生産及び加工・販売</li><li>・ 従業員数：12人(うち女性7名)</li><li>・ 経営規模：5.5ha(品目：桃3ha、ネクタリン0.3ha、りんご2.2ha)</li><li>・ 農業関連事業：加工品の販売・中学生の修学旅行での農業体験支援・福島市主催のイベントやオンラインショップへの参加</li></ul> 経営 <ul style="list-style-type: none"><li>・ GAP認定農場として安全・安心を考慮した取組</li><li>・ シフト制にし、希望に応じた柔軟な勤務体制(パート社員対象)</li></ul>	女性農業者の人数：7人

(注) 主な組織の事業内容は、具体的に記載する。

#### 2 事業実施体制



(注) 実施に必要な関係機関との実施体制を記載する。

### 3 女性の就農環境改善のための取組計画

#### (1) 地域取組主体における女性の農業への呼び込み・定着・活躍の課題（注）

##### 【地域の女性農業者の課題】

- ・地域の農業は高齢化が進み農業の担い手は減少の一途をたどっている為、積極的に女性の雇用を増やしていきたいと考えている。
- ・長くいきいきと働くには環境整備が必要だが、圃場が離れた場所に点在する状況も含め、すべての圃場に労働環境の整備への投資することが難しく、女性の確保が難しい状況でもある。
- ・家事・子育て等と両立しやすい勤務体制を作り、就労継続をサポートする。

##### 【現状の労働環境を踏まえた施設等の必要性】

- ・従来の仮設トイレは、「古くて汚い・臭う・男女兼用などの点から利用しづらい」といった声が多く、我慢しがちになり、夏場にトイレに行かないように水分摂取を控えると熱中症を招きかねない。

##### 【その他女性の農業への呼び込み・定着・活躍の課題】

- ・女性の雇用を確保し、定着させていくためには、本事業で取り組む男女別トイレを確保し、働きやすい環境の整備を進めていく事はもちろん、就労に向けてSNSで女性従業員のリアルな体験や魅力、やりがい等を画像や言葉にて発信する。また地域のマルシェなどのイベントに定期的に参加する際にも募集用チラシなどを準備、農作業だけでなく「消費者の視点」や「コミュニケーション力」、といった女性ならではの能力が発揮できるような場を設け、女性がいきいきと活躍している姿を直に見て知ってもらい「ここで働いてみよう」と思う求職者にとって、魅力ある職場であることを積極的にPRする。
- ・今働いている女性従業員にも快適で働きやすい職場環境を整えることで、愛着をもって能力を発揮してもらい、また新たに女性人材雇用を拡大し定着を目指すためにも、男女別トイレの確保が必要である。
- ・家事・子育て等と両立がしやすいように就業時間をシフト制にし、子育て中の女性には短時間勤務を可能に、また人員を確保する事で子供の体調不良等の急な欠勤や遅刻に対応。また子育てがある程度落ち着き、農業に興味を持ち意欲的に働きたい希望者にはスキルアップできるように個々の能力に合わせた柔軟な勤務体制を目指す。

(注) (2) の取組に係る具体的な課題を記載する。

(2) 女性の働きやすい環境を整備するための託児スペース、男女別トイレ、更衣室等の確保に係る計画 (注1)

確保する施設等の区分	①託児スペース ②男女別トイレ ③更衣室 ④休憩スペース ⑤アシストスーツ、高さが調節できる作業台等の備品の確保 ⑥その他				
区分番号 (注2)	時期	確保場所	数量	利用する女性農業者 (注3) の人数	備考
②男女別トイレ	R6.7	作業所横	1	7	
計			1	6	

(注1) 事業実施主体は、本計画をホームページへ公表する際には、「事業費」及び「国庫補助金」の欄を削除すること。

(注2) 「確保する施設等の区分」から該当する区分番号を選択し、記載すること。また、⑤又は⑥を選択した場合は、具体的な名称も記載すること。

(注3) 農業者は、新規参入者、自営農業就農者（結婚を機に就農された者を含む。）、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等の農業関連事業を含む年間30日以上従事者とする。

農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含む。

#### 4 整備内容を踏まえた「目標」達成のための取組 (注)

時期	取組内容・回数	備考
通年	【具体的に実施する取り組み】 ・ Indeed・エアワークへの求人情報の掲載(男女別トイレ完備をPRする) 1回 (通年)	
通年	・ SNSを用いた情報発信 SNSを通じて農作業の様子や農業の魅力、商品紹介など週2回以上 ・ 個々のスキルに応じたスキルアップ制度 ・ 働きやすい環境整備に向けた社内検討会 1回以上 ・ 農業女子ネットワークに参加	
4月	・ 地域農業者との情報交換 1回	
7月～1月	・ インターンシップの受け入れ (福島県内の農業科のある高校) ・ 軽トラ市、都内デパート、県内外での農産物販売イベント	

に参加 年数回

接客を通して、主婦層メインのお客様のニーズを知り、女性ならではの消費者目線から日々の業務に活かす

- ・福島県主催の海外販売に向けたPR活動に参加  
農作業以外の場での活躍や経験を活かし、やりがいやスキルアップ、広い知識を得る事を目指す
- ・JGAP指導員の資格取得  
自社方針や農業への理解を深め作業意欲を高める

### 現状・課題

高齢化による農業の担い手不足に代わる女性人材を確保したい

圃場が点在する為、全ての圃場に労働環境整備（男女別トイレ）する投資が難しい

家事・子育て等と両立しやすい勤務体制を作り就労継続をサポートする

### 施設の必要性

従来のトイレは「古くて汚い・臭う・男女兼用」などの理由から利用しづらい

特に夏場はトイレに行かないように水分摂取を控えると熱中症を招きかねない

### 今後の取組

男女別トイレの確保により環境整備を進められる

就労に向けてSNSで女性従業員のリアルな体験や魅力を発信

地域のマルシェなどのイベントに積極的に参加し実際に活躍している姿を見て知ってもらう

就業時間をシフト制にし、時短勤務や急な欠勤にも対応できるようにする

意欲的な人材にはスキルアップできるような体制作りを目指す

(注) 女性の就農環境改善のための整備内容を踏まえた、女性農業者確保の目標の達成のための具体的な取組内容（例：更衣室や休憩室の設置など働きやすい環境のPRによる求人など）を記載すること。また、第2の1の（5）の実績報告においては記載不要。

5 女性農業者確保の目標（注）

翌年度末までの女性農業者の新規確保人数（注）	事業実施年度	3	人
	事業実施翌年度	6	人
	合計	9	人
（女性農業者の新規確保人数の内訳）			
自営農業就業者            人、雇用就農者    3 人、 アルバイト等   6 人			

- （注）事業実施年度の翌年度末までの新規確保人数。また、第2の1の（5）の実績報告においては記載不要。
- ※必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付すること。
  - ※添付資料のうち、申請者のウェブサイトにおいて閲覧が可能な場合は、当該ウェブサイトのURLを記載することにより当該資料の添付を省略することができる。
  - ※国が必要と求める資料については、求めに応じ、遅滞なく提出しなければならない。
  - ※第2の1の（5）の計画の承認申請においては、本様式中の「（実績）」を削除すること。